

～さわやかな

笑顔

みどり学年～



明石市立二見中学校
71 回生
第 3 学年 学年通信
平成 30(2018)年 5 月 24 日 (木)
NO. 124

第 3 回道徳「マザーテレサ」

「親切で慈しみ深くありなさい。あなたに出会った人が、だれでも前よりももっと気持ちよく、明るくなって帰るようになさい。親切があなたの表情に、まなざしに、ほほえみに、温かく声をかけることばにあらわれるように、子どもにも、貧しい人にも、苦しんでいる孤独な人すべてに、いつでも喜びにあふれた笑顔を向けなさい。世話をするだけでなく、あなたの心を与えなさい。」

— マザーの言葉には、どんな人にもできる簡単な行動から、人類愛が始まることを教えられる。



【生徒の感想より】

- ★ まず、私が言いたいのは、マザーテレサが大好きになったことです。人のために自分のできる最大限のことを尽くしているところに本当に感動し、人々に生きる希望を与えることのできる彼女は、素晴らしい人だと思います。なので、私も人を愛し、人に愛される人になっていけるように、人の気持ちを考え、困っている人に尽くせるような人になれるよう、心を広く持っていきたいと思っています。
- ★ どんな小さい助けでも、それが大きな助けになる。他の国やから関係ないとか、自分は貧しくないからほっとくとか、そういう人間愛のない人は、どんなに金持ちでも、どんなにスゴイ人も価値がない。
- ★ 私はこの話を読んで、誰しも望まれて生まれてきたんだと、自分自身誇りを持って言えることだなと思いました。私は、親がそう思ってくれているけど、スラム街の子はそうじゃない子もいるかもしれないけど、マザーテレサの言葉で、誰もが救われたんじゃないかなと思います。
- ★ この話から、日本以外の国では現在も貧しい人がたくさんいる国もまだまだ存在しているわけだし、昔の日本も貧富の差が大きかった時代もあったわけだから、そう考えると今の日本は本当に恵まれているなと思いました。だから、二見中学校でもやっているような、ペットボトルキャップの回収でワクチンをつくったりする活動も、いろいろやっているから、これからもそういうことにもっと協力していきたいと思いました。



- ★ 今回の「もっとも悲しむべきことは、病めることでも、貧しいことでもなく」を読んで、マザーテレサと同じように、望まれて生まれてきた、という考え方に共感しました。人は、色々な個性や特徴があるけど、それを互いに認めて平等に接していくことが大切であると思った。
- ★ マザーのように、人の命までを本気で守るというのはできないけど、すぐそこにいる友達を簡単に傷つけたり、悲しませたりするのではなく、お互いを思いあって、少しでも友達を大切にできるようにこれから生きていこうと思いました。それができたら本当にすごい「人間」だと思います。

生徒総会が行われました



最近感じること

給食が始まりおよそ1ヵ月になります。どのクラスも落ち着き、スムーズな準備、喫食、片づけができています。しかし、クラスによって「いただきます」の時間に早い遅いの差があります。早いクラスに気づいたことがあります。当番の人で、自分の分担以外の仕事も積極的にしている人がいるクラスが、早くいただきますができています。陰で他人のために動いてくれている人がいます。それぞれの分担をみんながしっかりこなすことも大事ですが、見えない所で動いてくれている人の存在も知ってほしいと思います。そんな人のことを知ると、自分のわがままな言動が恥ずかしく思えるものです。マザーテレサの人間愛を見習いたいものです。